

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>ものづくりを通して地域や社会の健全で持続的な発展を担う工業人材を育成する学校</p> <p>ユネスコスクールに加盟する工業高校として、地域と連携した課題解決型の探究活動やものづくり教育を通して、持続的に発展する社会を形成するための豊かな心を育み、心身ともに健康でたくましい工業技術者を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<p>校訓の「個性尊重」「自覚努力」「自学自習」「創作工夫」「知恩感謝」の精神を身に付け、「ものづくり」を通して地域や社会の次世代リーダーとして活躍し、持続的な発展を担う工業人の育成</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<p>・専門知識や技能技術の習得、習熟度別、少人数、選択科目、朝課外で就職、公務員、進学など様々な進路に対応「個別最適な学び」 ・九州の工業高校では唯一ユネスコスクールに加盟し、持続可能な開発のための教育活動(ESD教育とSDGs) ・日本トップクラスの資格指導と知的財産教育</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<p>・明確な目標を持って実行できる人 ・誠実で責任感がある人 ・チャレンジ精神が旺盛な人 ・地域に貢献しようとする意欲の高い人</p>

学校運営計画(4月)			
学校運営方針			評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援アプリを活用した自学の習慣づけと基礎学力の向上 ・専門性の高い資格取得の増加及びジュニアマイスターの実績 ・学校行事等の実施による生徒会活動の活性化 ・ものづくりを中心とした地域貢献活動の実施 ・教育相談の充実と関係機関との連携による個に応じた対応の実施 ・企業や公務員、大学等の情報収集と的確な指導による進路指導の充実 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの効果的な活用によるアクティブラーニングの視点に立った授業改善の推進 ・育成したい資質・能力に基づいた観点別学習評価の充実による授業における指導・評価の改善 ・特別活動とおし、所属感・連帯感を深める生徒会活動の推進及び自己指導能力の育成 ・いじめ問題の未然防止、早期発見、早期対応のための組織的体制の構築 ・ものづくり、知的財産教育、資格取得をととした職業教育の充実 ・生徒の特性に応じた特別支援体制の構築及び関係機関との連携 ・キャリアパスポート、進路指導ガイダンス、インターンシップ等の充実によるキャリア教育の推進 	1 キャリア教育の充実	「生徒一人一人の多様な進路実現」に向けたカリキュラムの展開を行い、就職だけでなく公務員や大学進学等への進路指導體制の充実を図る。多様な生徒の可能性を伸ばす指導を充実させることで、生徒一人一人の多様な進路に応じた教育を行う。また、大学等との接続についても対応を行う。	
	2 ものづくりや知財教育を中心とした「三エブランド化」の推進	課題研究や実習を中心とした「ものづくり」や知財教育を通じた地域貢献を推進するとともに、「三エならではの」活動を行う。地域や社会の健全で持続的な発展を担う人材を育成するため、SDGsの推進やワンヘルス教育、防災・減災教育及びボランティア活動、ユネスコスクール活動等を充実させる。	
	3 授業規律の確立と授業技術を高め、「人を育てる授業」を展開する	「鍛ほめ福岡メソッド」の実践を推進し、「主体的・対話的で深い学び」に向けた「アクティブラーニング」の実践を図り、探求心の向上を行う。最先端科学技術の進展・グローバル化・産業構造変化等に伴い、必要とされる専門知識・技術も変化及び高度化しているため、教師自らが自己研鑽に励み、ICTを用いた授業づくり、実践学習を通じた学習意欲の向上と維持に努める。そのためには、生徒に「自覚努力」「自学自習」の精神を活かし、専門的な技術および知識の定着を行い、多様な課題に対応できる課題解決能力を育成することが重要であり、「課題研究」等の自主的な学習活動をより一層充実させる。	
	4 ICTを活用した新たな学習スタイルの確立を図る	生徒1人1台端末による学習支援アプリの利用及び通信ネットワーク等のICT環境を活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。教師のコーチングスキルを高め、生徒一人一人の資質・能力を一層確実に育成する教育活動及び教育DXの実現を目指す。	
	5 修学支援・特別支援を迅速に進める	「チーム三工」として、遅刻や欠席を繰り返す生徒の適切な指導法を協議するとともに、関係機関と連携し生徒情報を職員会議で適宜報告し組織的対応につなげる。また、担任及びクラス所属職員で学期初めの二者面談や学期終わりの三者面談をととして生徒理解に努め、生徒の心の変化を見逃さない。なお、「知恩感謝」の念を持ち、いじめや暴力のない安心安全な学校づくりに努める。	
	6 組織的な道德教育の展開	道徳実践力を高めるため、人としての在り方・生き方を身につける道徳教育を展開する。「凡事徹底」を図り、当たり前のことを当たり前にするのではなく、当たり前のことを人には真似できないほど一生懸命やる態度を涵養する。	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務部	学習意欲を向上させ、主体的に学びに向かう態度の育成	学習方法を記載した通信を学期に1回発行し、生徒の学習意欲の向上に繋げる。 生徒の学習意欲が測れるような授業アンケートの内容を検討し、実施・分析・情報共有を行う。 自学で、自己課題と「Classi」による個別課題を計画的に取り組みせ、学習習慣の定着へ繋げる。	授業アンケート学期毎 ICT活用アンケート	
	図書館利用を通して、読書に親しむ生徒の育成	朝の読書に継続して取り組み、読書に親しむ雰囲気醸成することで知的好奇心を育てる。 社会の出来事などに対応した図書展示などレイアウトやイベントの工夫を行い、生徒の利用を促進する。 次年度の筑後地区事務局運営に向け、図書委員へ各種研修会の参加を促し、実践力を養わせる。	生活アンケート	
	ICTを用いた授業改善・校務の情報化推進のための環境整備	1人1台端末に関する運用方針・規約を適宜更新し、生徒・教職員への周知を徹底する。 1人1台端末や学習アプリ(Google for Education、Classi)等の研修を学期に1回行い授業改善を図る。 校務用PCやタブレット端末、校内ネットワークなどの保守・管理を適切に行う。	授業アンケート 端末使用に関するアンケート	
生徒育成部	安心安全な学校づくり及び自己指導能力の育成	いじめ問題について、全職員共通理解のもと未然防止・早期発見・早期対応に組織的に取り組む。 生徒会を中心に、実施形態を工夫し、所属感・連帯感を深める学校行事を実施する。 生徒が日常生活の様々な場面で適切な判断のもと実行できる力を、あらゆる機会を通して育成する。	いじめアンケート 各行事ごとのアンケート	
	健康な心身の育成及び自己管理ができる生徒の育成	全職員による教育相談を年3回実施し、生徒理解を深める。 薬物乱用防止講演会・いのちの講演会などの各種講演会を実施し、正しい知識と強い意志、いのちの大切さや他人を尊重する考えを身につけさせる。 保健だよりをできるだけ発刊し、感染予防の啓発や季節に応じた注意喚起ができるようにする。	検診前アンケート 教育相談面談内容	
進路指導部	個々の適性に合った進路希望の実現	進路指導部で得た情報を担任や科主任等と共有し連携することで、生徒の進路希望についてきめ細かな助言を行う。 模試や学習アプリを活用し、生徒を定期的、効果的に励ます場面を設定する。また、面接練習に取り組みせ会話でのやりとりに対応できるようにする、就職試験一次募集での合格率94%(昨年度)以上を目指す。 就職問題集やSPI参考書を活用し勉強方法を助言し自学の習慣をつけさせる。また、進学・公務員課外は志望校の過去問レベルまで発展させる。	進路試験後アンケート 就職試験一次募集での合格率 生活アンケート 学校満足度アンケート	
	キャリア発達の促進および社会人で活躍する指導	キャリアパスポートを学校行事でも定期的に振り返らせ、社会に貢献しようとする人材に育てる。 インターンシップや工場見学等の運営を工夫することにより、職業理解や自己理解を深めさせ、就職・進学・公務員など多様な進路希望の実現と実現後の社会生活をイメージさせる。 生徒が主体的に進路調べ活動をするホームルームの時間(進路ガイダンス等)を設定する。	生活アンケート 学校満足度アンケート	
企画部	魅力ある学校行事の実施	PTA活動を通して、保護者と学校との連携を深め、効果的な教育活動に繋げる。 本校の魅力を伝えられるような体験入学を企画し、受験生増加に繋げる。 他分掌との連携を強化し、業務の最適化を図る。	体験入学アンケート 生活アンケート	
	様々な情報発信の充実	中学生対象の本校説明会や進路学習会の充実を図る。 HP・安全安心メール・Instagram等による情報発信を充実させる。 学校案内パンフレット・PTA新聞・FMたんとう・各種ポスターを充実させる。	体験入学アンケート 生活アンケート	
	校内研修による職員の資質と能力の向上	教職員として必要な資質と能力の向上を図るための研修会を実施する。 学期に1回程度は、ICT支援員等の専門的な知見で研修会を実施し、技能の習得を図る。 研究授業実施者及び授業参観者の授業改善につながるような合評会を行う。	授業アンケート(生徒対象)学期毎 ICT活用アンケート	
1学年	基本的な生活習慣の確立	欠席・遅刻指導を徹底し、皆勤率75%を目指す。 授業や学校行事等を通して、協力する・ルールを守る・他者を思いやる生徒の育成を目指す。 3S(早く・止まる・笑顔)を意識した挨拶や時間の厳守など徹底した生徒指導を行い、規範意識を高める。	授業アンケート(生徒対象)学期毎	
	基礎学力の育成	授業規律の確立を図るとともに、教科担任・各分掌・保護者との連携を図り、課題に対し早期に対応する。 担任を中心に学年団・各科と連携して、生徒一人ひとりに目を向け、手厚い指導・助言を行う。 3年間を見据えた指導を計画的に行い、進路指導部や各学科と連携しながらキャリア教育の充実に努める。	生活アンケート	
2学年	自己理解・自己管理能力を高め、人間関係形成・社会形成能力を身に付ける。	学年集会・行事等を通して、学校生活の中核を担う学年としての誇りと自覚をもたせ規範意識を高めさせる。 部活動をはじめとして規模の大小を問わず、リーダー経験を持つことを学年の最大目標と設定し、意識させる。 遅刻・欠席指導を徹底し、皆勤率70%を目指す。	授業アンケート 生活アンケート	
	キャリアプランニング能力を身に付け、基礎学力の底上げを図る。	面談等を通して、毎回の定期考査と模試での目標設定と振り返りによる課題確認を行い、自己ベストを更新していくサイクルの確立。 上級学校や就職について具体的に調べるための進路学習の時間を確保し卒業後の具体的進路目標を設定できるようにする。 床や机上に不要なものを置かせず、整然とした環境を作り、予習・授業・復習のサイクルを確立させる。	授業アンケート 生活アンケート	

様式3

3学年	主体的な学習習慣と基本的な生活習慣の確立、また確かな進路実現及び勤労観・職業観の育成	学習環境の整備と授業規律を徹底し、学習習慣・方法を定着させ、意欲的に学ぶ姿勢を身につける。(予習→授業→復習の学習スタイル、家庭学習の習慣化)成績改善を要する者0名を目指す。 広い視野と高い志を持ち、その実現に向かって意欲的に努力する態度を身に付けさせ、規範意識やマナーの向上を通して、将来の職業人として高い意識を持った生徒を育成する。 皆勤者100名以上を目指し、個人面談を行い、生徒に関する情報の適切な提供に努めて、個に応じた指導を実践すると共に、家庭連絡の徹底と生活習慣の確立に努める。	授業アンケート 生活アンケート	
	「個を高めあえる集団」「集団を高められる個」の育成を図る	豊かな人間関係の形成を通し、リーダーシップとフォロワーシップの相互関係により、互いに成長できる生徒の育成を目指す。 自分の役割を意識し、学校や学級に貢献できる活動を推進し、新しい時代に主体的・積極的に対応し、社会に貢献できる人材を目指す。 学校行事や部活動を通して、粘り強く逞しい体力と精神力、周囲と協働する意識の向上、社会貢献・環境に対する意識を高めるため、学習成果の提供やボランティア活動を積極的に行い、地域社会との連携を深める。	授業アンケート 生活アンケート	
電気科	基礎学力の向上と応用力の発展	生徒に授業をしっかりと受ける準備と姿勢を身につけさせる。 実習などの集合時間(5分前行動)を厳守させる。遅刻・欠席をなくす。(皆勤率 70%以上を目指す) 家庭学習の課題を与え、検定試験や国家資格の合格をさせることによって、自学自習の態度を養う。	授業アンケート(生徒対象) 学期毎	
	電気技術者の育成を目指す指導	第二種電気工事士の合格率を90%以上、第一種電気工事士を10名以上合格させる。 ものづくりコンテスト電気工部門や、技術アイデアコンテストにおいて上位入賞を目指す。 第一進路希望に合格できるように、必要な情報提供と適切な支援を行い、進路実現を果たす。	学校生活アンケート 大会結果 国家資格の取得率	
電子機械科	高度な知識・技能と問題解決能力の育成	ICT機器の活用を積極的に行い、聴いて・視て・対話して学ぶことで、学習意欲の向上を図る。 座学と実習を関連付け、専門性の高い知識と技術の深化・統合化を図る。 資格・検定試験へ生徒自らが主体的にチャレンジし、ジュニアマイスター認定30名以上を目指す。	授業アンケート(生徒対象) 資格合格率・取得率	
	安全教育を通じた規範意識の育成	実習等のあらゆる機会において、安全教育における6S(整理・整頓・清掃・清潔・作法・安全)の徹底を図る。 基本的な生活習慣を確立し、遅刻・欠席を減らす等、日常の中で指導し、皆勤者8割以上を目指す。 科・系職員間での情報交換を密にし、生徒理解に努め、積極的に横断的な生徒指導を行う。	生活アンケート(生徒対象) いじめアンケート(生徒・保護者対象)	
情報電子科	基礎学力の向上と進路実現	基礎学力向上のため、日々の指導の中で、生徒個々に合った学習法を検討し提示する。 キャリア教育をとおして、明確な進路目標を持たせ、計画と取り組みを実行させる。 資格取得をとおして目標設定をするとともに、ICT機器により効果的かつ計画的に学習する姿勢を醸成する。	授業アンケート(生徒対象)	
	企業が求める人材の育成	企業情報収集能力の育成を行い、企業が求める人材をよく理解させ、第一希望進路100%を目指す。 勤労観や社会人の心構えを養うために、日々の指導の他に、インターンシップや工場見学等で指導を充実させる。 実習等で基礎、基本的な技術や技能を身につけさせ、技能検定100%合格を目指す。	生活アンケート(生徒対象) 資格合格率・取得率	
土木科	自己指導能力の育成に向けた指導	相手の気持ちを考え、行動や言動に気を配り、思いやりのある人材を育成する。 教室やロッカーの整理、貴重品の管理を徹底し、環境整備ができる態度を育成する。 生活習慣を整え、自己管理能力を高め、皆勤者80%を目指す。	授業アンケート(生徒対象) 学期毎 生活アンケート	
	土木技術者の育成を目指したキャリア教育の充実	各種資格試験の指導を科全体で効果的に指導し、技術者としての誇りと進路実現100%を目指す。 高度熟練者による職場体験活動により最新技術に触れ進路目標の明確化を推進する。 授業や実習において危険予知を徹底し、怪我や事故がない安全教育を徹底する。	生活アンケート	
工業化学科	確かな学力の育成と進路実現に向けたキャリア教育の充実	個に応じたサポートを充実させ、学習意欲の向上と家庭学習の習慣化を目指す。 国家資格を取得させることで専門性の向上と進路実現100%を目指す。 インターンシップや工場見学、高度熟練者による指導を通して、自らの適性に応じた職業観を育成する。	クラッシーを利用した学習時間調査 国家資格の取得率 事前事後のアンケート	
	自立できる生徒の育成	基本的な生活習慣を確実に身に付けさせ、遅刻・欠席を減らし皆勤率80%以上を目指す。 身だしなみや挨拶を励行し、感謝の気持ちを行動で表すことができる態度を育成する。 地域と協力したイベントに参加し、地域社会の発展に寄与することができる人材を育成する。	出席状況 学校生活アンケート 活動実績	